

アキュラ バイオプシー システム

(DGK*****: ガラクトグラフィーキット)

再使用禁止

【禁忌・禁止】

使用方法

- ・再使用禁止。

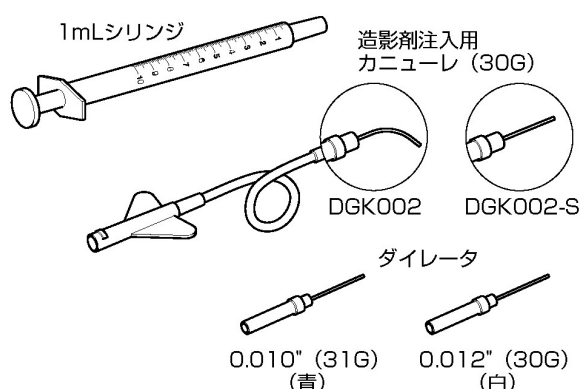
【形状・構造及び原理等】

組成

カニューレ: ステンレススチール

ダイレータ: ステンレススチール

形状



品番	カニューレの形状
DGK002	カーブ型
DGK002-S	ストレート型

【使用目的又は効果】

生体組織検査用の採取針及びシリンジである。

注) 本品はダイレータ、注入カニューレ及びシリンジを含むキットであり、乳管造影に用いる。

【使用方法等】

■乳管造影の手順

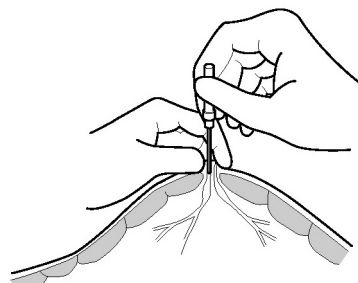
I. 乳管の確認

1. スポットライトを乳頭に当たるように設置する (乳頭を暖めることによって括約筋を弛緩させ、乳管のカニューレ挿入をより容易にする)。
2. 片方の乳房を手のひらで乳腺の末梢から乳頭方向に分泌物を集めるようにゆっくりと搾る。
3. 乳頭直下を親指と人差し指でつまむように圧迫し、乳頭管からの分泌物の有無を確認する。
4. アルコールで乳頭を消毒する。

II. 乳管の拡張

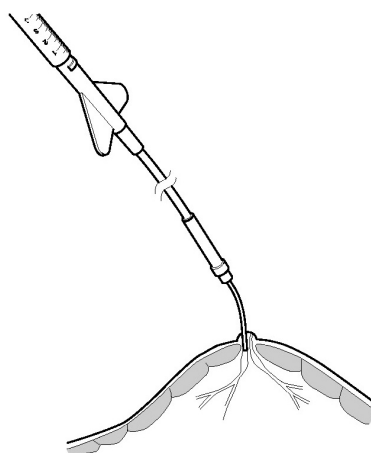
5. 滅菌包装に破れ等の損傷又は水ぬれが無いことを確認する。
6. 滅菌包装を開封し、無菌的に本品を取り出す。
7. 本品に損傷が無いことを確認する。
8. 分泌物がわずかに乳頭管に見える程度に軽く乳頭を圧迫し、カニューレを挿入する乳頭管を確認する。

9. サイズ 0.010" (31G) のダイレータを乳管内に挿入する。ダイレータは、人差し指と親指でくるくる回転させながら乳管内に 2~3mm 挿入する。拡張後、0.012" (30G) のダイレータに交換し、同様に拡張する (異常のある乳管が一度拡張されると、通常分泌物は自然に流れ出る)。



III. 乳管のカニューレ挿入

10. 1mL シリンジに造影剤を吸引する。
11. カニューレハブにシリンジを接続し、シリンジやカニューレ内の空気を除去する。
12. カニューレを乳管口に 2~3mm 挿入する。
13. 0.2~0.3mL の造影剤をゆっくりと注入する (通常は、1mL 以内で充分検査をおこなえる)。



IV. 乳房撮影

14. カニューレを乳頭管から抜去する。
15. 2 方向から乳房撮影をおこなう。
注) この時、造影剤が乳頭からあふれ出ないように乳房の圧迫は最小限にする。

使用方法等に関連する使用上の注意

1. 本品から保護用シースを取り外す際は、カニューレの先端を傷つけたり、破損させないように慎重におこなうこと。
2. 乳管をダイレータで拡張する際、2~3mm 以上奥へ挿入しないこと。[乳管を貫通する可能性がある。]

【使用上の注意】**重要な基本的注意**

乳房撮影時に溢出（extravasation）が起こった場合は、検査を中止し、2～3週間後に再検査をすること。

【保管方法及び有効期間等】**保管方法**

水濡れに注意し、直射日光、高温多湿及び衝撃等を避けて保管すること。

有効期間

製品ラベルに表示。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**【製造販売業者】**

スーガン株式会社

TEL (06) 6354-6181

【製造業者】

アルゴンメディカルデバイス社

(Argon Medical Devices, Inc.)、アメリカ

ご使用に際し、ご不明な点などありましたら、発売元までお問い合わせください。

【発売元】

大阪市北区東天満 1 丁目 12 番 10 号 〒530-0044

<http://www.sheen-man.co.jp>

TEL. (06) 6354-7702 FAX. (06) 6354-7114